

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 東京登別げんきかい交流事業
-------------------	----------------------------

区分	番号	名 称
章	6	担いあうまちづくり
節	2	交流によるまちづくりの推進
施策	1	国内における交流の場と機会の拡大
小分類	1	国内の様々な地域との交流の推進
主要な施策	3	札幌圏・首都圏における交流拠点の整備
事務事業番号	001	事務事業コード 62113001 事業開始年度 平成 元 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	東京登別げんきかい交流経費
------	------	------------	---------------

部 名	総務部	グループ名	政策推進室企画 G
-----	-----	-------	-----------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	<p>(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください)</p> <p>登別出身または在任していた者で、関東地区に居住する個人。 本社、支社等が東京近郊に所在し、かつ、登別市内に事業所、工場を有する団体。</p>
手段 (事業の内容・活動)	<p>(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください)</p> <p>首都圏などに在住する登別市出身者やゆかりのある方などで構成される本会の活動に対し支援を行っている。総会や交流の場において、市の情報を発信し市政への協力や首都圏での市のPRの協力をいただくとともに、相互の情報交換や親睦、交流を図る。</p> <p>【平成 2 1 年度活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏のイベントの開催 平成 2 1 年 7 月 1 日(土)「日本・西洋庭園と江戸の名残、とげ抜き地蔵を訪ねて」 総会・情報交換会・懇親会の開催 平成 2 1 年 1 1 月 1 4 日(土) 登別経済会より 1 1 名が参加し、登別のまちづくりの取り組みについて報告・意見交換した。 <p>【平成 2 2 年度 3 月末現在会員数】 4 6 9 人</p>
目指す姿 (成果)	<p>(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください)</p> <ul style="list-style-type: none"> 総会、情報交換会、夏のイベントなどを通じ、会員相互の親睦を図る。 市と本会との相互の情報交換を行い、市政や首都圏での市のPRの協力をしていただく。
根拠法令等	<p>(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)</p> <p>東京登別げんきかい会則</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	夏のイベント参加者数	人	目標値	55	60	65	70	75
			実績値	55				
	総会・情報交換会参加者数(延べ人数)	人	目標値	160	165	170	175	180
			実績値	152				

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	554	600	585	585	585	1,755
合 計				554	600	585	585	585	1,755
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	512	537			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		512	537			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 当会は首都圏に事務所を持たない本市にとって、情報発信源として重要な役割を担っていることから、市が当該事業を実施することは妥当と考える。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 継続的かつ活発的に情報交換等の活動が行われている。また、登別をふるさとに持つ会員構成となっており、ふるさと納税の協力が得られている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 情報交換会等で本市の情報を提供し、市政への協力や首都圏での市のPRの協力をいただく。今後も総会、懇親会等を通じて会員相互の親睦、交流を図ることにより、未永く登別を想い続けていただき、ふるさとである登別の発展に寄与していただくことが可能と考える。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 現在の経費は情報交換等に必要な旅費と会場借上料のみであり、また、人件費についても最低限の人工で実施しているため、削減は難しいと考える。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	当会は、登別のふるさと会として登別市の発展に寄与することを目的に活動を行っている。当会が実施している活動は、本市にとって大きな財産であり、今後も本事業を継続すべきものとする。
----	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力的に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）